

2021(令和3) 年度 事業計画書

自 2021 (令和3) 年 4月 1日
至 2022 (令和4) 年 3月 31日

公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

2021(令和3)年度事業計画書

公益目的事業 1. ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関に対して研究費等の助成を行う事業

助成事業

2021(令和3)年度研究助成事業

2021(令和3)年度の研究助成先並びに助成金額は、審査委員会の書類選考によって選出した後、理事会に於いて承認されることになっている。

2022(令和4)年度の募集要項は、2021(令和3)年12月、ホームページを通じて公開される予定である。

応募期間 : 2022(令和4)年1月10日 ~ 2月10日

書類選考 : 審査委員会にて行う

選考結果 : 2021(令和3)年度の理事会にて決定、応募者に通知する

審査方式は、合議審査を行わず、2段階での書面審査を実施し、採否を決定する「2段階書面審査」を実施し、理事が第1段階目の審査委員となる。

公益目的事業 2. ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

広報・活動事業

(1) ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

当協会やビタミン・バイオフィクター関連団体の市民公開講演会、諸講座、シンポジウム等の開催日程や内容などに関する新情報をホームページに掲載する。これらにより広くビタミン・バイオフィクターに関する情報の提供、知識の普及を図る。また当協会の会員数の増強を図るためにも、ホームページを通じて事業、企業会員情報、ビタミン・バイオフィクター関連の特許情報を掲載する。

(2) 一般市民を対象にした公開講演事業

ア. 市民公開講演会開催

【延期後開催】2020(令和2)年度 ビタミン・バイオフィクター協会 市民公開講演会 (主催)

開催日 : 未定

会場 : 龍谷大学響都ホール

世話人 : 植野 洋志 (当協会業務執行理事、奈良女子大学名誉教授)

テーマ : ビタミン・バイオフィクターとプラスチック

1. マイクロプラスチック分析の最新のソリューション

藤里砂 ((株)島津製作所 分析計測事業部
グローバルアプリケーション開発センター)

2021(令和3)年度事業計画書

2. バイオフィクター温故知新～プラスチックを食べるバクテリアの巻～
吉田 昭介 (奈良先端科学技術大学院大学特任准教授)
3. プラスチック行政の取り組み
中山 純一
(富山県 生活環境文化部 環境政策課 廃棄物対策班長)
4. 「バイオプラスチック」とは何で、どんなものがあるのか？
高橋 里美 (元京都大学大学院農学研究科客員教授)
5. カネカ生分解性ポリマーPHBHの開発
福田 竜司 (㈱カネカ Green Planet 推進部
Green Planet 計画(日本) 推進グループ企画チームリーダー)

イ. 市民公開講座開催

2021 (令和3) 年度 日本ビタミン学会 市民公開講座 開催 (共催)

開催日 : 2021 (令和3) 年 12 月 4 日 (土)

会場 : シティホールプラザ アオーレ長岡 (予定)

実行委員長 : 高橋 祥司 (長岡技術科学大学院技学研究院教授)

テーマ : 私たちの健康・美容とビタミン

(3) 事業委託

ア. ビタミン B 研究委員会

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミン B 研究委員会に下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託する。

また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知する。

研究協議会

第 463 回	6 月 19 日	東京・芝浦工業大学 芝浦校舎 [延期]
第 463 回	7 月 3 日	WEB 開催
第 464 回	8 月 27・28 日	岡山・ザ・シロヤマテラス津山別邸
第 465 回	11 月 20 日	京都・京都大学 楽友会館
第 466 回	3 月 5 日	滋賀・立命館大学びわこ くさつキャンパス (BKC)

シンポジウム

開催日 : 2022 (令和4) 年 3 月 4 日 (金)

会場 : 立命館大学びわこ・くさつキャンパス (BKC)

イ. 日本ビタミン学会

年次大会や学会誌「ビタミン」を通してビタミン・バイオフィクターの研究成果の発表、情報交換を図る。

変更理由 : 日本ビタミン学会への助成事業 (研究助成金) は、よりふさわしい活動事業委託に変更した。

(4) 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応する。また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答する。

(5) その他

新型コロナウイルスの感染拡大が、当分続くものと思われるので、極力対面の機会を減らし、予防に努める。